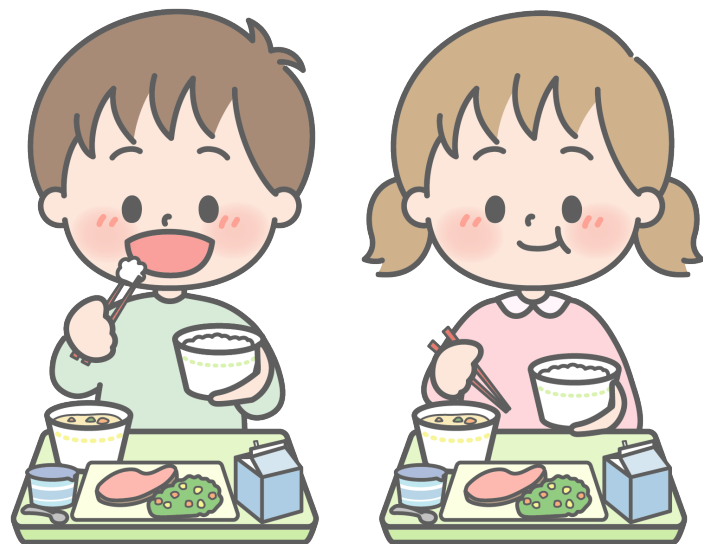


日本共産党候補者への1票で

学校給食の 無償化を 実現しよう!



日本共産党の一貫した奮闘で 議会が大きく変化

日本共産党候補は、市議選当選から一貫して給食問題にとりくみ、中学校給食を実現。11年前から無償化を求めて、日本共産党市議団合計で12回質問してきました。市民の運動も広がる中で多くの他党も要求するように。実現の大チャンスです。

日本共産党候補への1票が実現の一番の力になります。

減税・河村市長は 無償化を拒否

物価高騰が続き給食無償化の願いが高まっているのに、減税日本・河村市長は「金持ち優遇になる」と無償化を拒否。市民の願いに背を向けています

憲法で「義務教育は無償」

憲法26条では「義務教育は無償」としており、そもそも「金持ち優遇」という主張は成り立ちません。教育の機会均等は教育基本法で定められ、給食無償化について経済的地位によって差別することは教育上も許されません。富裕層からは所得税の応能負担をしてもらうというのが本来のあり方です。

全国254 自治体で実施

全国ではすでに254自治体で無償になり、青森市など大きな自治体でも無償になっています。

党派をこえて日本共産党候補を全力応援!



新社会党
石川翼 安城市議



緑の党
尾形慶子 共同代表



社民党
平山良平 県連代表

今度ばかりは西区2議席のうちの貴重な1議席は日本共産党候補へ——党派をこえて応援が広がっています。



政治を動かす日本共産党

議席を復活させてください

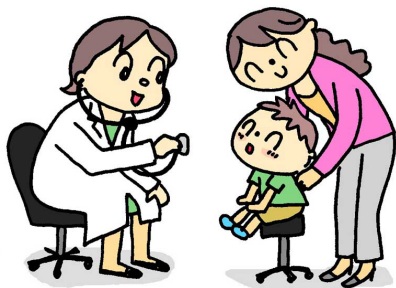
自民・民主・公明の反対を乗り越えて

子どもの医療費 18歳まで完全無料に

子どもの医療費は2022年1月から通院も18歳まで無料になりました。政令市の中で所得制限や自己負担なしに18歳まで完全無料化したのは名古屋市だけです。

1990年代後半は無料化は3歳児未満まででした。市民が「小学校入学前まで無料に」と市議会で請願。これに自民・民主・公明が反対しました。

しかし、大きく広がった市民運動と日本共産党の論戦が他党や市長を動かし、無料化の年齢が順次拡大。一時期導入された所得制限も撤廃させました。



山田図書館を建設

他党は住民の署名を無視



「山田地域に図書館を」との請願署名に、日本共産党以外の全会派議員が紹介を拒否。

1992年・1994年に市議会本会議質問で「万博・空港より、子どもが願っている図書館を」と追及し実現。2005年に開館となりました。

敬老パスを JR・私鉄へ利用拡大 乗り換えカウント1回に

市民の宝の敬老パス。JR・私鉄や民間バスでも使えるようになりました。一方で、年間730回の利用制限に自民・民主・公明・減税が賛成し導入へ。日本共産党は回数制限導入は利用抑制を招くと撤回を求め、市民の反対運動の広がりにより2021年市長選で市長は「乗り換え一回カウント」を公約。来年2月に実施することになりました。

減税・河村市長の 値上げ計画をストップ

2011年に河村市長は「事業仕分け」で敬老パスの一部負担の値上げをねらいましたが、日本共産党と市民との共同で撤回させました。今度は利用回数制限を撤廃させましょう。

特別支援学校に空調

100年かかる計画を5年に短縮

特別支援学校の老朽・マンモス化問題を議会質問。もとむら伸子衆院議員が国会でもとりあげ、馳文科大臣（当時）も愛知に視察へ。「特に空調については、政府としてより予算措置をする必要がある」と発言。100年かかる計画をただし、5年でエアコン設置を実現できました。

多数の実績はコチラ



あなたの1票を日本共産党候補者へ